

# 職業訓練校運営



新しく建設された2号校の校舎



優れた刺繍の技術で自立する卒業生

## アフリカ セネガル

### 社会自立支援センター「ジャモー」

**概要：**1995年、女性の自立支援を目指して首都ダカール市で開校した。洋裁、刺繍、レース編み、ビーズ飾りの技術と家庭教育を1日6時間の授業で、4年間学ぶ。修了者は卒業試験に合格すると政府公認の卒業証書が授与される。年度末の修了式に作品展示即売会を行い、地域にアピール。隔年で卒業式を行い、地元の有識者や政治家を招待している。生徒の保護者会を通じて、地域に根付くよう努力している。

2001年から卒業生の研修店「サロン・ド・クチュール・ジャモー」で自立に向け1～2年間の実務研修を行っている。

2018年1月に日本政府の支援により、ダカール市の郊外ティバワンプル区に2号校の建設が完成し、2019年1月に開校。30人が学んでいる。

### 進展状況

#### 【2017】

- 「ジャモー」で教えている刺繍の技術は他にはないため、その技術を学ぶために他校から転校してくる生徒もいる。就職後も、卒業生が職場で他のスタッフに頼まれてその刺繍技術を教えることもある。
- 研修店では、2年間研修を積み重ねた卒業生達の仕上げた洋服は丁寧に作られており、お客様からの評判もよく、リピーター客が多い。
- 卒業生の勤務先を訪問。刺繍がとても上手な生徒だったので、刺繍をとりいれた洋服を多く制作。その生徒の兄弟がイタリアに住んでいることから、イタリアでもその洋服を販売している。

#### 【2018】

- 研修店では、3台の電動ミシンを新しく設置。
- 1月19日、「ジャモー」に協力的な女性・家庭・子供省プロジェクト評価部長の紹介で、文妍娥 WFP インターナショナル会長（当時）、堀 WFP 日本会長、ディオブ「ジャモー」校長、川名派遣員、大久保派遣員で女性・家庭・子供省を訪問し、副大臣と会談。「セネガルにとってJAMOOのようなセンターが必要とされている。今後より良いセンターができるように協力をしていきたい。」とのお話をいただいた。

生徒数	ジャモー	研修店
2016年12月～ 2017年8月	生徒数：20 卒業生：4	研修生：7 卒業自立：2
2017年12月～ 2018年8月	生徒数：21 卒業生：0	研修生：2 卒業自立：2



女性省副大臣と共に



研修店の内部